道 徳 教 育 全 体 計 画

諫早市立有喜小学校

めざす児童像

やさしい子

かしこい子

たくましい子

関係法令等

日本国憲法
教育基本法
学校教育法
学習指導要領
県・市の教育方針

児童の実態

・明るく素直である。
・与えられた課題にまじめに取り組む。
・自分で考え行動する力が弱い。
・表現力に乏しい。

道徳教育重点目標

・人との関わりの中で、自分を大切にし、人も大切にする生き方、生命を大切にする心を育てる。（A、D）
・:正しい判断を基に、自己の責任や役割を自覚し、進んで実践行動しようとする態度を育てる。（B、C）
・進んで体を動かし、困難にくじけない意志と体力を培い、ねばり強くやりぬこうとする態度を育てる。（A、C）

各教科との関連

国語　国語を正確に理解し適切に表現する能力や心情を育てると共に互いの考えを尊重して伝え合う態度を育てる。
社会　民主的な社会の一員として人間尊重の考え方を身に付ける。国土に対する理解と愛情を育てる。
算数　筋道を立てて考えることを通して、物事を道理的に追求する態度を育てる。
理科　自然のすばらしさや不思議さを知り、自然や動植物を愛する心を育てる。
生活　自分と身近な社会や自然との関わりに関心を持つ。
音楽　音楽を愛する心と感性を育て、豊かな情操を養う。
図工　造形表現や鑑賞を通して、豊かな感性や情操を養う。
家庭、　衣食住の学習を通して、人間としてのあり方や自己の生き方を考え自立する能力や態度を育てる。
体育　健康安全に対する知識を身に付け、協力や公正・公平の態度を育てる。

各 学 年 の 重 点 目 標

低	・自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行うこと。【A：希望と勇気、努力と強い意志】 ・友達と仲よくし、助け合うこと。【B：友情、信頼】 ・自分の好き嫌いにとらわれないで接すること。【C：公正、公平、社会正義】 ・生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすること。【D：生命の尊さ】
中	・過ちは素直に改め、正直に明るい心で生活すること。【A：正義、誠実】 ・友達と互いに理解し、信頼し、助け合うこと。【B：友情、信頼】 ・約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ること。【C：規則の尊重】 ・生命の尊さを知り、生命のあるものを大切にすること。【D：生命の尊さ】
高	・より高い目標を立て、希望と勇気を持ち、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜くこと。【A：希望と勇気、努力と強い意志】 ・誰に対しても思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にすること。【B：親切、思いやり】 ・誰に対しても差別することや偏見をもつことなく、公正、公平な態度で接し、正義の実現に努めること。【C：公正、公平、社会正義】 ・生命が多くの生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し、生命を尊重すること。【D：生命の尊さ】

特別活動との関連

集団活動や体験的な活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図るともに、集団の一員としての自覚を深め、協力してよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。

学級活動	学級活動においては、学級や学校の生活上の諸課題を見いだし、これを自主的に取り上げ協力して解決していく自発的、自治的な活動によって望ましい人間関係の形成やよりよい生活づくりに参画する態度などに関わる道徳性を身に付けることができる。
クラブ活動	クラブ活動においては、異年齢によるよりよい人間関係の形成や個性の伸長、よりよいクラブ活動づくりに参画する態度に関わる道徳性を養うことができる。
児童会活動	児童会活動においては、異年齢の児童が学校におけるよりよい生活を築くために、諸問題を見いだし、これを自主的に取り上げ、協力して解決していく自発的、自治的な活動を通して異年齢によるよりよい人間関係の形成やよりよい学校生活に参画する態度に関わる道徳性を養うことができる。
学校行事	学校行事においては、特に、自然の中での集団宿泊活動やボランティア精神を養う活動、幼児、高齢者や障害のある人々などとの触れ合いや文化や芸術に親しむ体験を通して、よりよい人間関係の形成、自律的態度、心身の健康、協力、責任、公徳心勤労、社会奉仕などに関わる道徳性を養うことができる。

外国語・外国語活動との関連

・外国語を通じて、言葉や文化について体験的な理解を深め、日本としての自覚をもって世界の人々との親善に努める態度を育てる。

特別の教科道徳

・ 年間指導計画に基づき、一人一人の児童に道徳的価値の自覚を深め、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育成する。
・児童と教師の信頼関係や児童相互のよりよい人間関係を育て、物事を多面的・多角的に考え、のびのびと表現できるようにする。
・話合いを通じて自己を見つめ、自己や社会の未来に夢と希望をもてるようにする。
・児童の発達段階や個に応じた指導をめざし、「生きるちから」、 情報モラル指導資料などを有効に活用し、指導の工夫改善を図る。
・体験を生かした指導・他の教科活動との関連を図った指導・協力体制を生かした指導を工夫する。
・子どもと共に考え、悩み、感動を共有しながら学んでいく姿勢をもつ。

総合的な学習の時間との関連

総合的な学習の時間において、探究課題の解決を通して育成を目指す資質や能力については、児童が主体的に判断して学習を進めたり、粘り強く考え解決しようとしたり、自己の目標を実現しようとしたり、他者と協調して生活しようとしたりする資質や能力を育てることが重要である。このような資質や能力の育成が道徳教育につながる。

生活指導との関連

基本的行動様式を身に付けさせ、善悪の判断をし、自主的に行動できる児童を育てる。
社会性をはぐくみ、人との関わりを豊かなものにし、いじめのない学校づくりに取り組む。
生命尊重および健康安全に対する関心を高める。

学 年 ・ 学 級 経 営

家庭・地域との連携

・家庭と協力して基本的生活習慣を身に付けさせる。
・地域学習を通して、地域社会における好ましい人間関係を育む。
・地域の人々の協力を生かした教育活動を積極的に行う。
・地域の自然や文化に親しみ、郷土を愛する心を育てる。